



医学コラム **IVR治療** ●神経根ブロック療法 ●トリガーポイント注射 **について**

臀部(でんぶ)～足などへの痛み・しびれに対する治療法

臀部(でんぶ = お尻)からふくらはぎにかけて現れる痛み・しびれ・麻痺などの症状は、さまざまな原因によって、坐骨(ざこつ)神経が刺激を受けたり圧迫されたりすることで発生します。

原因としては、多くは背骨の腰の部分に存在する腰椎に異常が生じることで、坐骨神経が刺激を受けたり、圧迫されたりすることで発生します。

過度な運動や、長時間のデスクワークによる運動不足などが原因で起こることもあり、若い世代は腰椎椎間板ヘルニア症、高齢者は腰部脊柱管狭窄症などの疾患が原因になることが多いです。



- 検査・診断 -

神経痛はあくまでも疾患ではなく症状ですので、原因となり得る疾患をそれぞれ診断していく必要があります。主に問診、診察、画像検査などで神経痛の原因を探り、それに応じて適切な治療方法を検討します。

まずは患者さんが自覚している症状を医師に伝え、医師が歩行や姿勢などを確認し、痛みやしびれを感じる箇所に触れたりすることで診断していきます。脊椎や筋肉などの状態を調べるために、レントゲン・CT・MRIなど、それぞれに適した画像検査を行います。

自己流で対処して症状を悪化させてしまう危険性もあるため、まずは受診して医師の診断・指示を受けましょう。



- 治療 -

神経痛の治療は、症状を和らげるための対症療法が主体となります。保存的療法(物理療法や牽引療法など)、症状に応じてコルセットを装着する装具療法、薬物療法、ストレッチや体操によって症状を軽減する運動療法などがありますが、当院では、改善効果が期待できる神経根(しんけいこん)ブロック療法を行っています。



👉 神経根ブロック療法とは

ブロック療法とは、飲み薬や理学療法、運動療法などでも治らず、日常生活に支障があるような場合に行います。一般的には保存療法と手術療法との中間的な治療と位置付けることができます。

まず、腰痛の部位、診察所見、画像検査を元に、現在の痛みがどの神経根から発生しているのか場所を特定します。

腰神経根は5本あり、例えば右図L5(腰椎5番)とS1(仙骨)の間にある椎間板ヘルニアでは、通常はL5の腰神経根が圧迫され、腰や下肢に痛みが出ます。

